

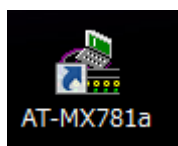
## AT-MX781a 本体ファームウェア更新方法

### 準備

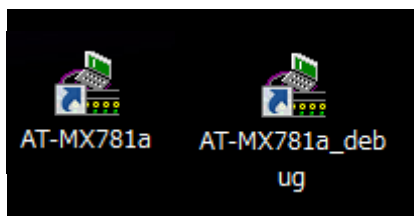
- 更新用のファイルをダウンロードし、適当なフォルダーにコピーします。  
最新本体ファームウェア：MX781a\_ver2.bin
- リンクしている AT-MX781a は全てリンクケーブルを外します。
- 書き込む本体はあらかじめハードウェアリセット（初期化）しておく作業がスムーズに行えます。（本体フロントパネルの「スレッシュホールド」ツマミを押しながら電源を ON にすると本体が初期化されます。）

### 手順

1. 本体付属の CD-ROM からコントロールソフトをインストールしてください。  
最新版は WEB からダウンロードしてインストールをしてください。  
\*ファーム更新に関しては最新版ソフトウェアである必要はありません。  
インストールに関しては CD-ROM 内の Inst.pdf (ソフトウェアインストール説明書)を参照してください。  
(既にコントロールソフトをインストールしている場合、この手順は省略できます。)
2. デスクトップなどに PC 用コントロールソフトのショートカットを作成します。  
(スタートメニュー → AT-MX781a → AT-MX781a をコピーすると便利です。)



3. 更にショートカットのコピーを作成し、名前を例えば「AT-MX781a\_debug」などとします。\*通常起動時と区別するためなので名称はなんでも構いません。



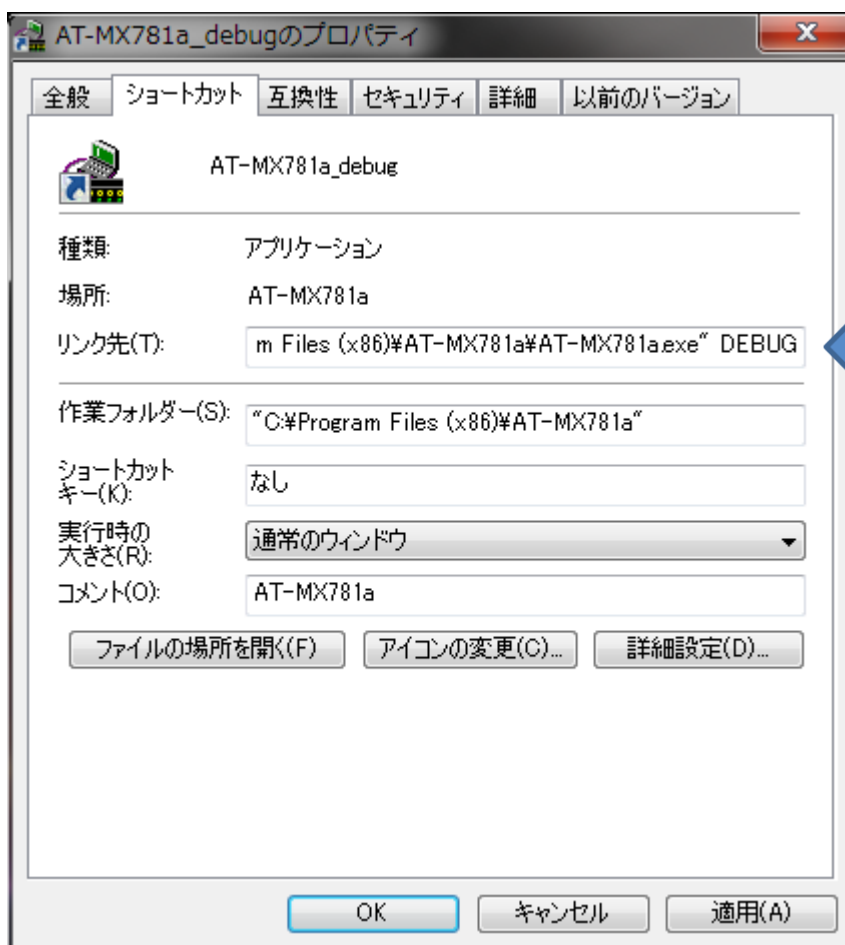
4. 名前を変更した方のショートカットを右クリックしてプロパティを開き、「ショートカット」タブの「リンク先」欄の最後に半角スペースに加えて「DEBUG」と入力し OK をクリックして閉じます。

注意) ●半角スペースを必ず入れてください。

●あらかじめ表示されている文字列（パス）はコントロールソフトをインストールしたフォルダーによって変化します。

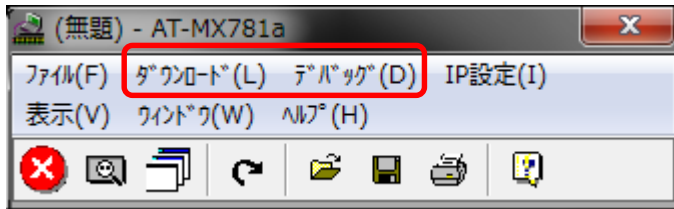
●インストールされたフォルダーによってはパスにダブルクォート（“）が付くことがあります。DEBUG の文字はダブルクォートの外側に追加してください。

下記参考例となります。



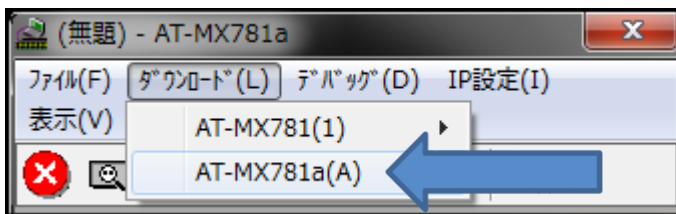
5. AT-MX781a を接続し、新たに名前を付けて作成したショートカットからソフトウェアを起動します。\*ダウンロードに時間がかかるので Ethernet での接続を推奨します。

6. メニューに「ダウンロード」と「デバッグ」が追加されていることを確認します。  
追加されていない場合は手順4を再度確認してください。

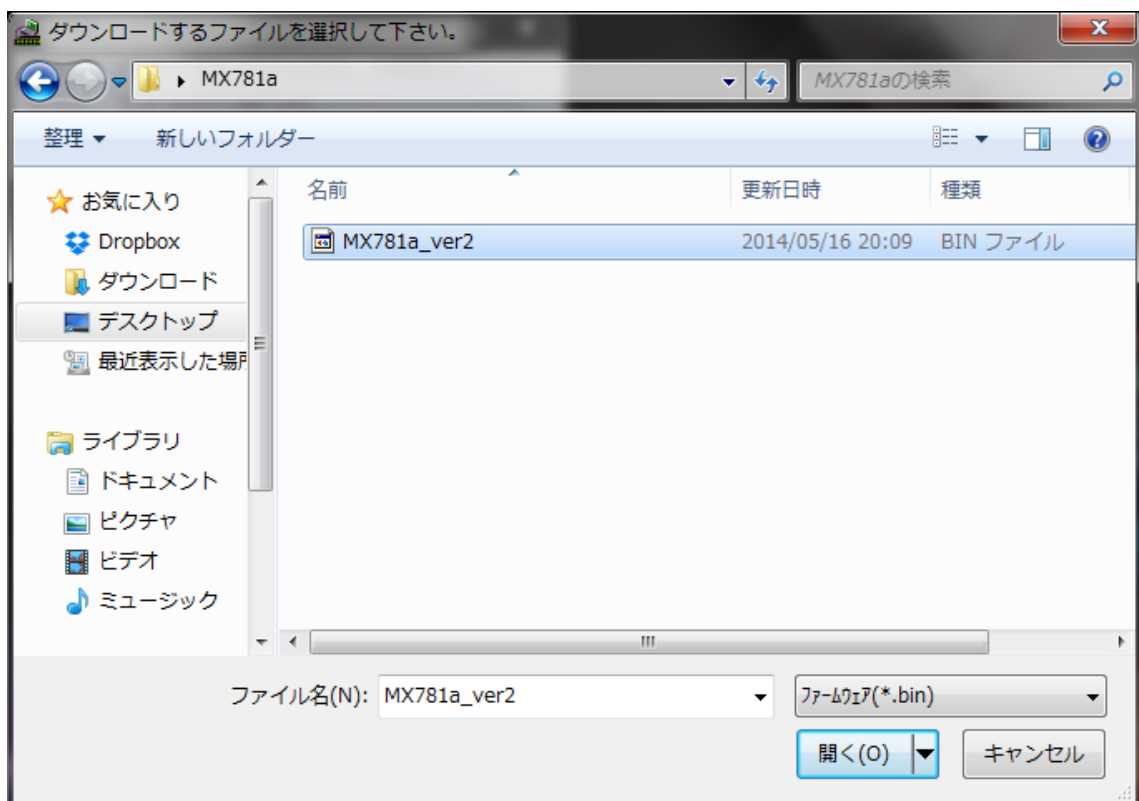


7. メニューからダウンロードを選択します。

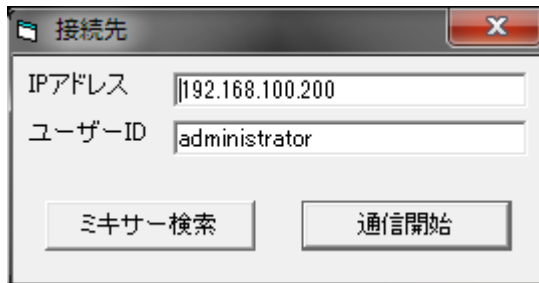
8. AT-MX781a を選択します。



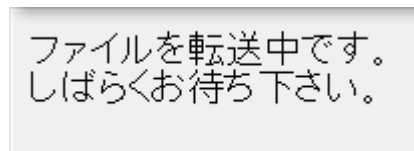
9. ファイルを選択するダイアログが開くので書き込むファームウェアを選択します。



- 1 0. Ethernet で接続している場合は、下記のダイアログが表示されるので通信設定を合わせて「通信開始」ボタンをクリックします。



- 1 1. 書き込みが開始されると下記画面が表示されます。



**\*この画面が表示されている間は本体の電源を切ったり PC との接続ケーブルを抜いたりしないでください。ただしく書き込みが終了出来ない状態となります。**

- 1 2. 書き込みが終了すると本体が自動的に再起動します。(上記表示画面も消える)

- 1 3. 以上でファームウェアの更新が完了となります。